

経営比較分析表（令和2年度決算）

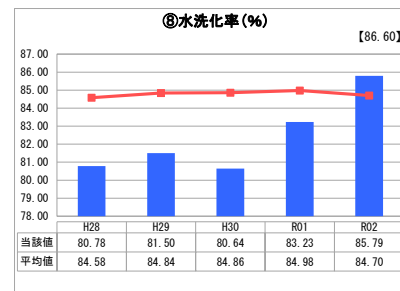
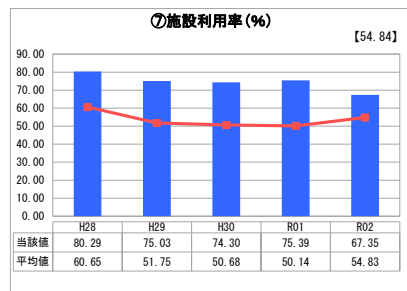
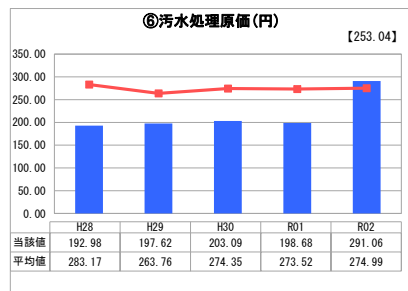
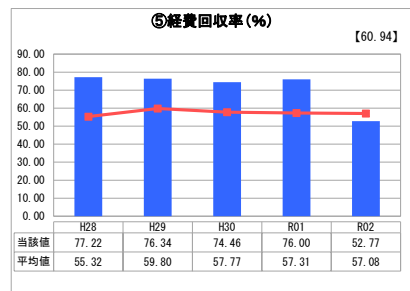
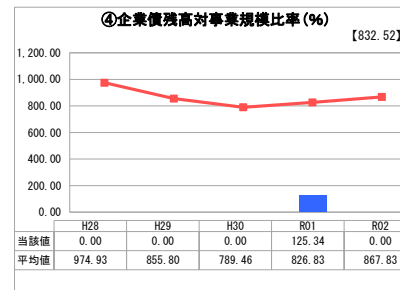
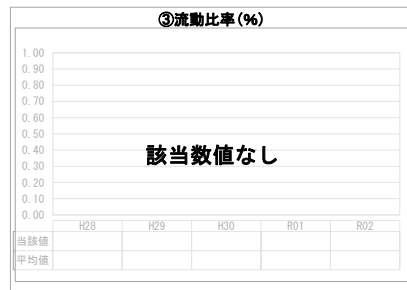
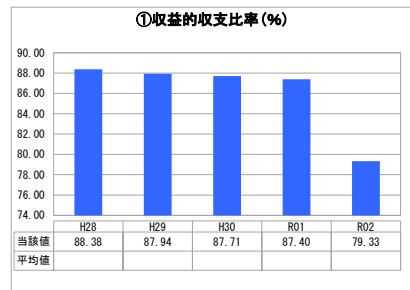
熊本県 芦北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	21.94	94.14	3,300

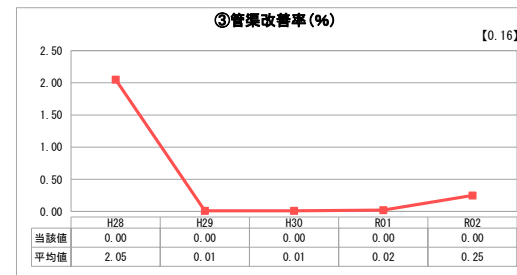
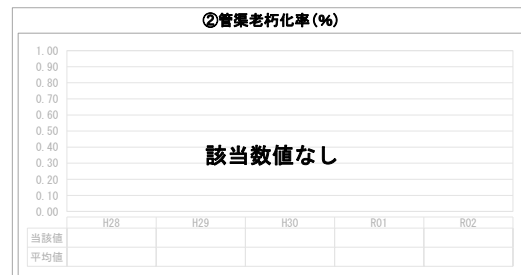
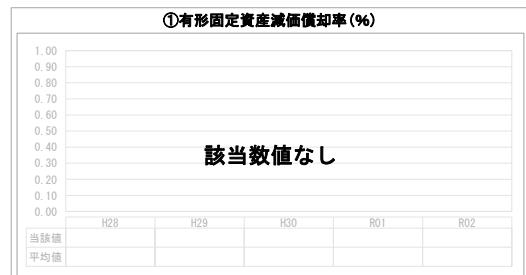
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,556	234.01	70.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,595	1.89	1,902.12

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

R2年度は処理施設が被災したため修繕費用が大きくなった。その修繕費用の財源として地方債を充てており、収益的収支比率が低下している。
また、去年と同様に経営は一般会計からの繰入に依存しているため、施設の統廃合や処理方式の改善などの将来を見据えた施設への更新計画に基づき更新等を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

伏木氏処理区を除く処理区（芦北・米田・花岡東・女島西・内野）については、供用開始後20年以上を経過し、施設・管路等の老朽化が進行している。
なお、R3年度から芦北処理場の更新工事を実施中。

全体総括

供用開始20年を超え、老朽化した施設の維持管理経費等の増加や、人口減少による使用料の減少も今後避けられない状況である。
R3年度から芦北処理場の更新工事を実施しているが、今後は、米田地区での更新も計画予定。また、使用料改定等も考えていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。